

『学童保育施設の設置』についてのアンケートの集計結果

調査期間:平成19年10月15日(月)～平成19年11月14日(水)

調査対象:本学全教職員(非常勤職員含む)

回答者数:185名(※配布者の総数が把握できないため、回答率は不明。)

1(ア)年齢

	全体	本部	東山学校園	特別支援学校	医歯薬学	附属病院	資生研	三朝医療セ
20歳台	7人	1人				6人		
30歳台	106人	26人	10人	3人	15人	50人	1人	1人
40歳台	65人	29人	3人	4人	8人	20人	1人	
50歳台	7人	4人			1人	2人		
60歳台	0人							
計	185人	60人	13人	7人	24人	78人	2人	1人

(イ)性別

	全体	本部	東山学校園	特別支援学校	医歯薬学	附属病院	資生研	三朝医療セ
男性	79人	35人	12人	6人	13人	12人	1人	
女性	106人	25人	1人	1人	11人	66人	1人	1人
計	185人	60人	13人	7人	24人	78人	2人	1人

(ウ)職種

	全体	本部	東山学校園	特別支援学校	医歯薬学	附属病院	資生研	三朝医療セ
事務職員	36人	25人		1人	5人	5人		
技術職員	17人	8人			3人	5人	1人	
教育職員	63人	26人	13人	6人	14人	3人	1人	
医療技術職員	22人				2人	19人		1人
看護職員	46人	1人				45人		
計	184人	60人	13人	7人	24人	77人	2人	1人

※未回答=1人

※未回答=1人

(エ)事業場

本部(津島キャンパス)	60人
教育学部附属東山学校園	13人
教育学部附属特別支援学校	7人
大学院医歯薬学総合研究科 (大学院保健学研究科含む)	24人
医学部・歯学部附属病院	78人
資源生物科学研究所	2人
地球物質科学研究センター	人
医学部・歯学部附属病院三朝 医療センター	1人
計	185人

2. 子供の人数

	未就学	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
全体	171人	23人	23人	23人	27人	17人	11人	298人
本部	54人	10人	9人	6人	12人	6人	4人	103人
本部外	117人	13人	14人	17人	15人	11人	7人	195人

3. 通学校

公立	96人
私立	1人
計	97人

(公)	1人
(公)赤磐市立山陽小	1人
(公)岡山市立宇野小	1人
(公)岡山市立岡山中央小	1人
(公)岡山市立吉備小	1人
(公)岡山市立興除小	1人
(公)岡山市立清輝小	1人
(公)岡山市立古都小	1人
(公)岡山市立西大寺南小	1人
(公)岡山市立鹿田小	1人
(公)岡山市立竜之口小	1人
(公)岡山市立富山小	1人
(公)岡山市立灘崎小	1人
(公)岡山市立南輝小	1人
(公)岡山市立幡多小	1人
(公)岡山市立平井小	1人
(公)岡山市立平福小	1人
(公)岡山市立福島小	1人
(公)岡山市立三門小	1人
(公)岡山市立御南小	1人
(公)岡山大学附属小	1人
(公)尾道市立高見小	1人
(公)笠岡市立笠岡小	1人
(公)倉敷市立大高小	1人
(公)倉敷市立帯江小	1人
(公)倉敷市立万寿東小	1人
(公)瀬戸内市立邑久小	1人
(公)瀬戸内市立行幸小	1人
(公)総社市立総社東小	1人
(公)福山市立春日小	1人
(公)岡山市立芥子山小	2人
(公)岡山市立岡南小	2人
(公)岡山市立操明小	2人
(公)岡山市立西小	2人
(公)岡山市立東畦小	2人
(公)倉敷市立茶屋町小	2人
(公)岡山市立大元小	3人
(公)岡山市立三勲小	3人
(公)岡山市立庄内小	3人
(公)岡山市立福浜小	3人
(公)岡山市立芳泉小	3人
(公)岡山市立横井小	3人
(公)岡山市立伊島小	4人
(公)岡山市立中山小	4人
(公)岡山市立福田小	4人
(公)岡山市立高島小	5人
(公)岡山市立御野小	6人
(公)岡山市立津島小	13人
(私)朝日塾小	1人
計	97人

4. 学童保育利用

	利用	未利用
全体	27人	70人
本部	8人	29人
本部外	19人	41人

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
全体	9人	7人	7人	2人		
本部	2人	2人	2人	1人		
本部外	7人	5人	5人	1人	0人	0人

5. 夏・冬・春休み中の利用

	利用	未利用
全体	26人	1人
本部	8人	0人
本部外	18人	1人

6. 学内施設への託児希望

(平日)

	預けたい	条件があれば預けたい	預けない	計
全体	15人	33人	129人	177人
本部	9人	20人	30人	59人
本部外	6人	13人	99人	118人

(土日等)

	預けたい	条件があれば預けたい	預けない	計
全体	17人	50人	108人	175人
本部	10人	19人	30人	59人
本部外	7人	31人	78人	116人

7. 保育希望上限学年

(平日)

	3年生まで	4年生まで	5年生まで	6年生まで	計
全体	29人	21人	6人	63人	119人
本部	10人	6人	2人	20人	38人
本部外	19人	15人	4人	43人	81人

(土日等)

	3年生まで	4年生まで	5年生まで	6年生まで	計
全体	18人	14人	7人	80人	119人
本部	3人	4人	2人	25人	34人
本部外	15人	10人	5人	55人	85人

8. 保育希望時間(平日)

(開所)

	学校終了後～	学校の学童終了後～	その他	計
全体	96人	18人	3人	117人
本部	29人	6人	2人	37人
本部外	67人	12人	1人	80人

(閉所)

	～18時	～19時	～20時	～21時	その他	計
全体	13人	59人	29人	14人	1人	116人
本部	9人	17人	7人	3人	0人	36人
本部外	4人	42人	22人	11人	1人	80人

8. 保育希望時間(土日等)

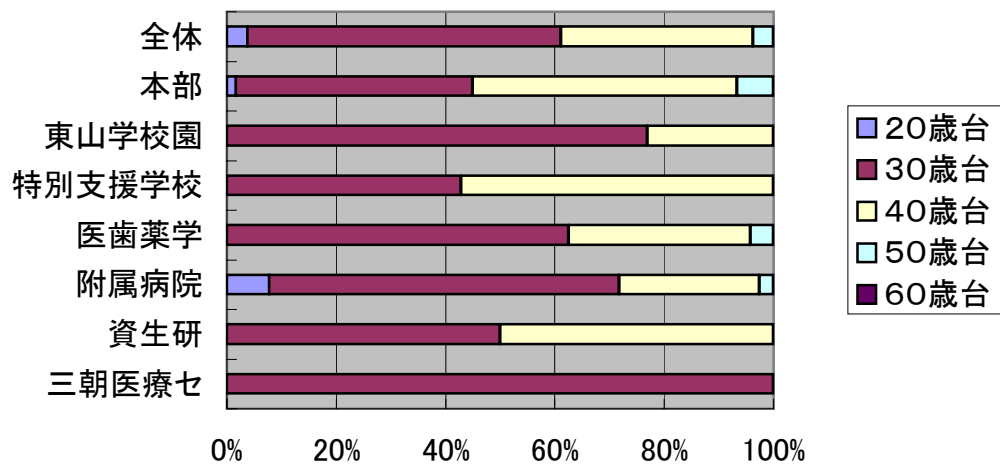
(開所)

	8時～	8時半～	9時～	その他	計
全体	70人	18人	17人	13人	118人
本部	16人	14人	6人	0人	36人
本部外	54人	4人	11人	13人	82人

(閉所)

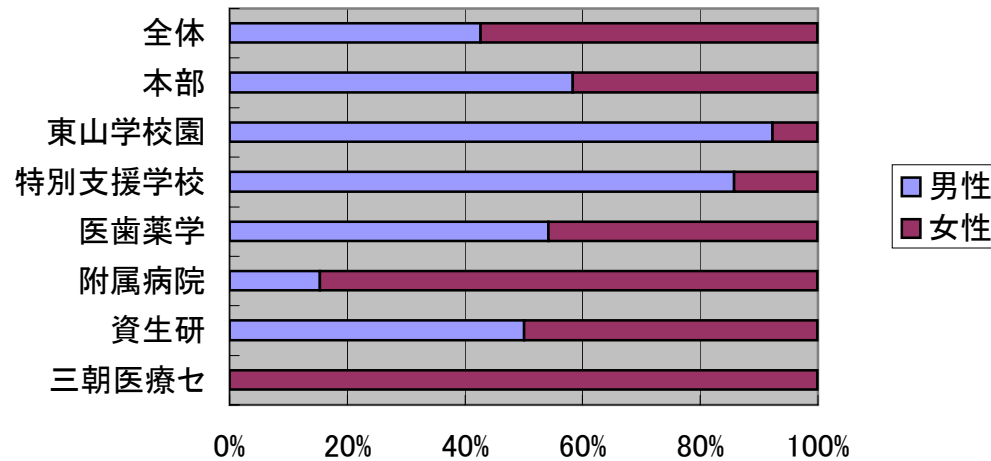
	～17時	～18時	～19時	～20時	～21時	その他	計
全体	12人	30人	44人	23人	10人	0人	119人
本部	6人	14人	10人	4人	2人	0人	36人
本部外	6人	16人	34人	19人	8人	0人	83人

1(ア) 年齢



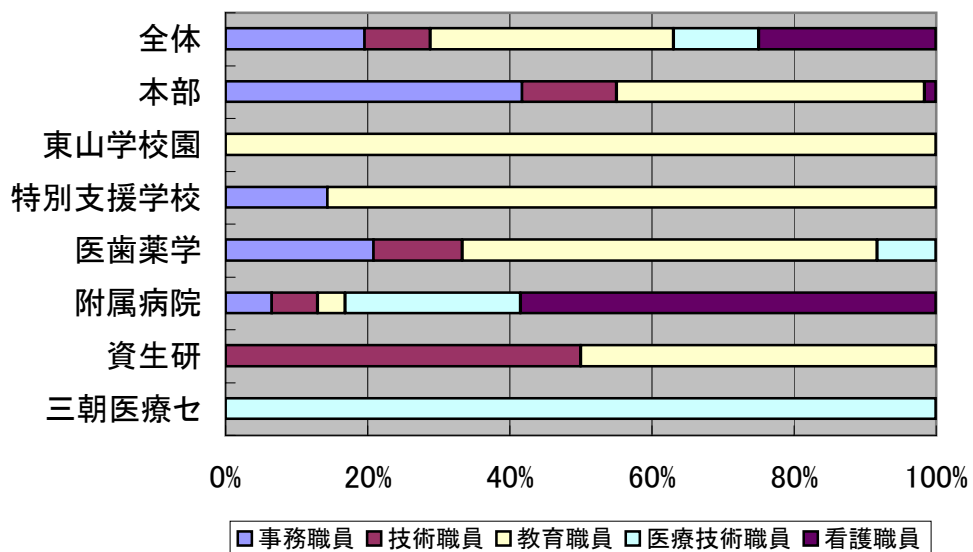
※医歯薬学には保健学研究科を含む

1(イ) 性別



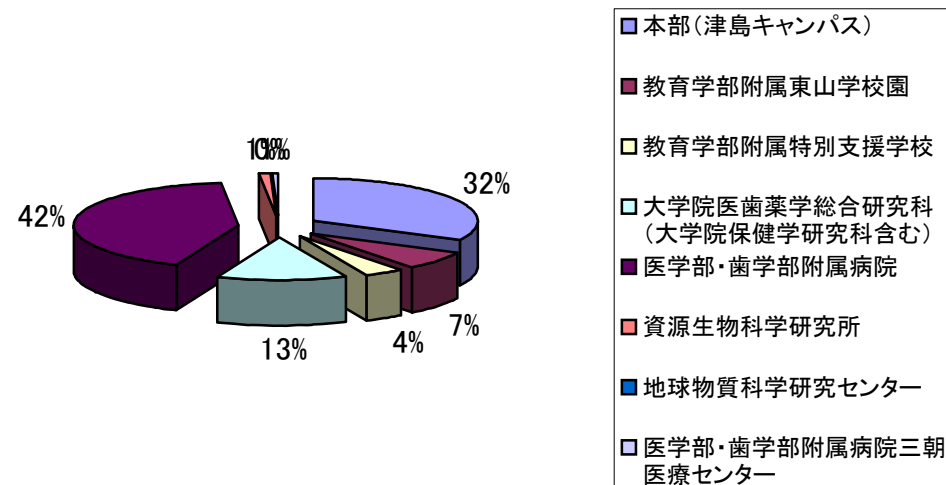
※医歯薬学には保健学研究科を含む

1(ウ) 職種



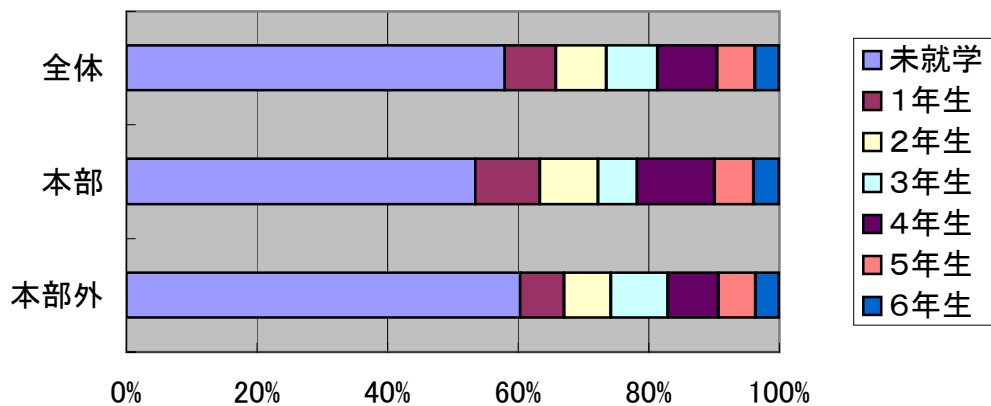
※医歯薬学には保健学研究科を含む

1(エ) 事業場

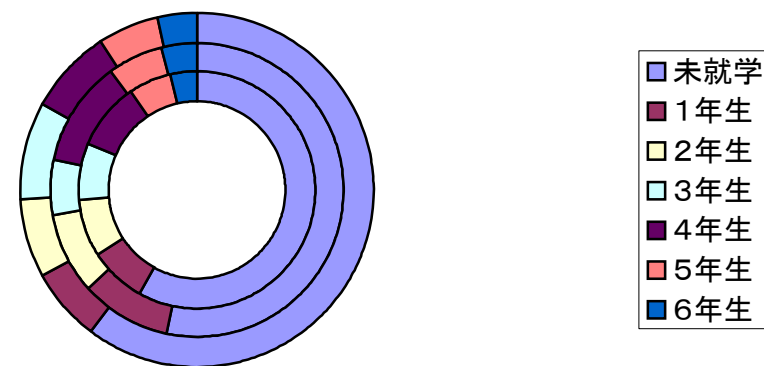


※医歯薬学には保健学研究科を含む

2. 子供の人数

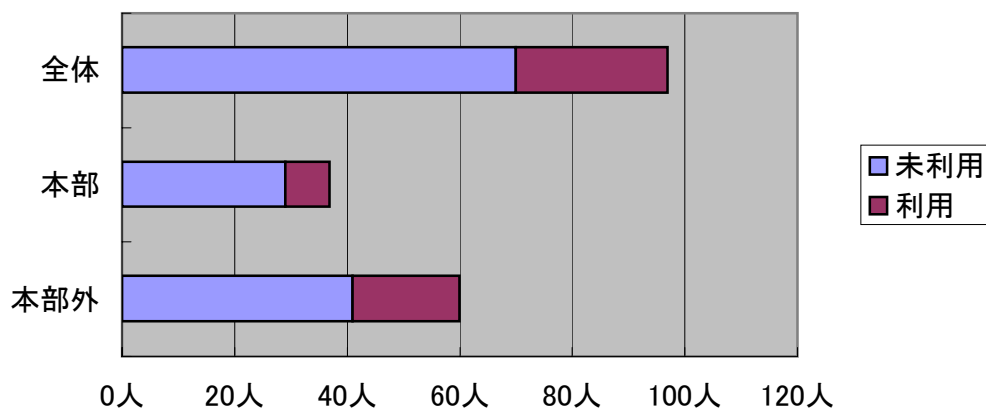


2. 子供の人数

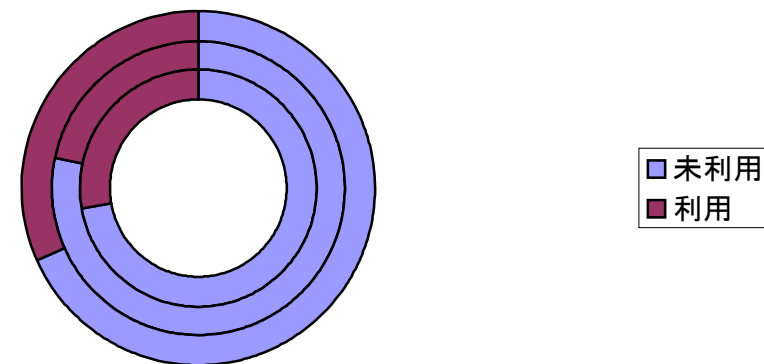


※内側から全体, 本部, 本部外の順

4. 学童保育利用者

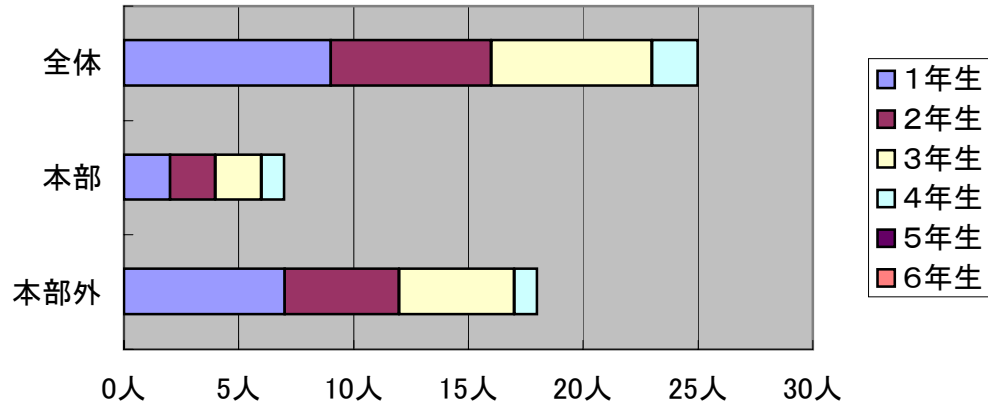


4. 学童保育利用者

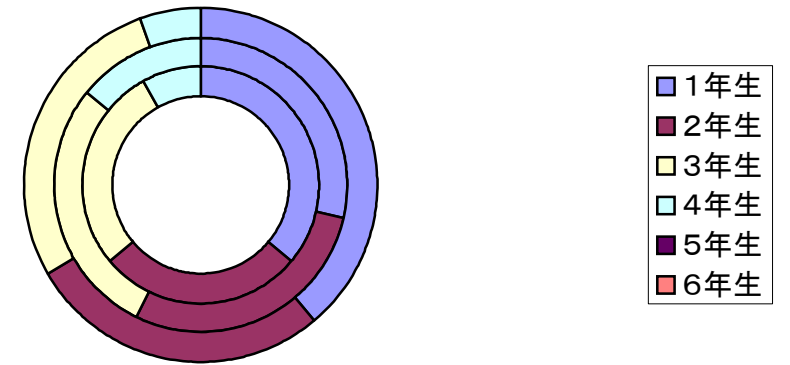


※内側から全体, 本部, 本部外の順

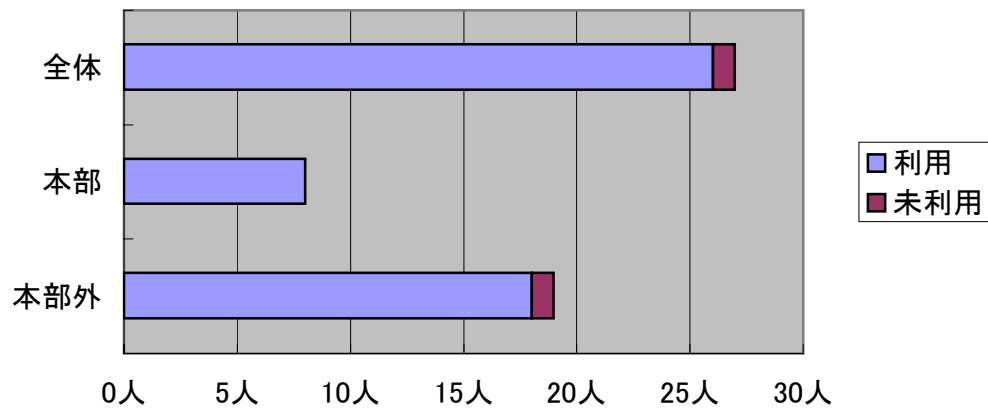
4. 学童保育利用者(内訳)



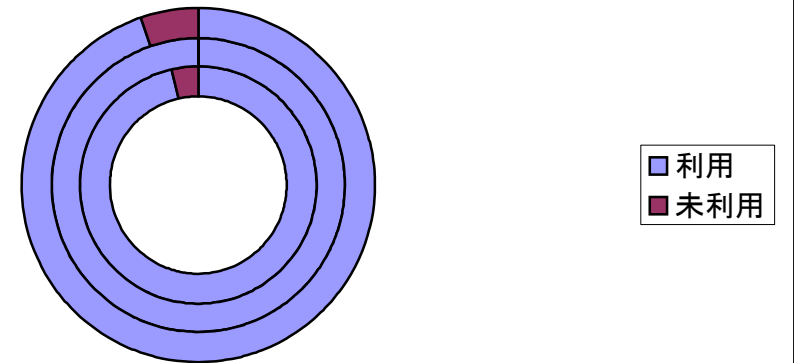
4. 学童保育利用者(内訳)



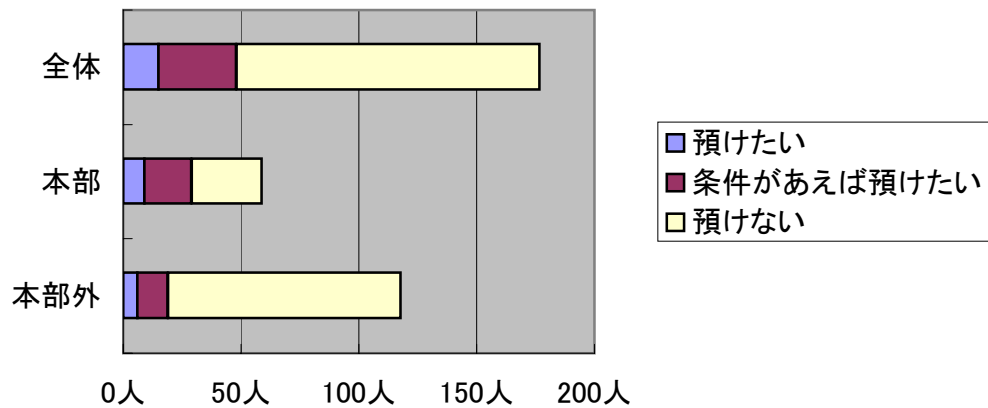
5. 長期休暇中利用者



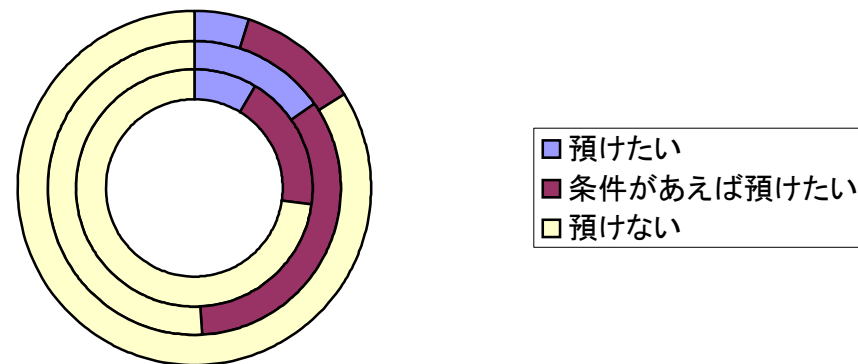
5. 長期休暇中利用者



学内施設利用希望(平日)

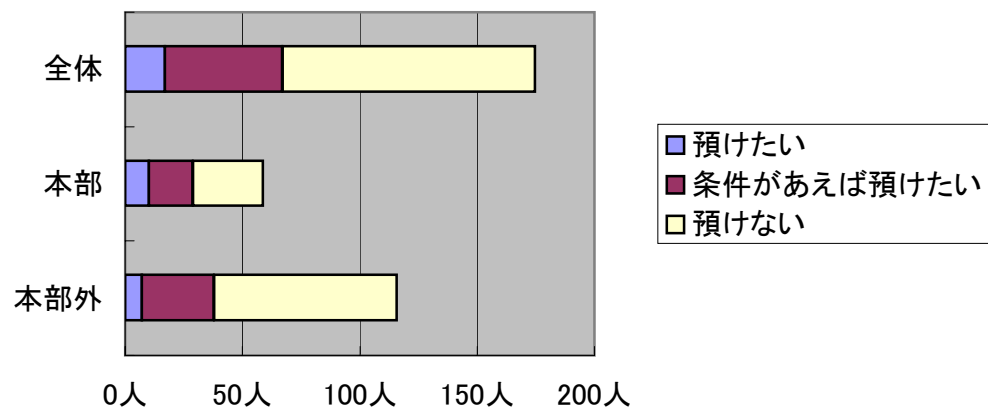


6. 学内施設利用希望(平日)

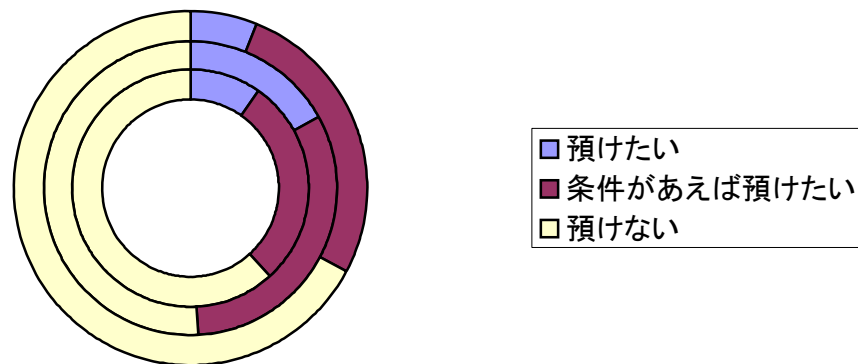


※内側から全体, 本部, 本部外の順

6. 学施設利用希望(土日等)

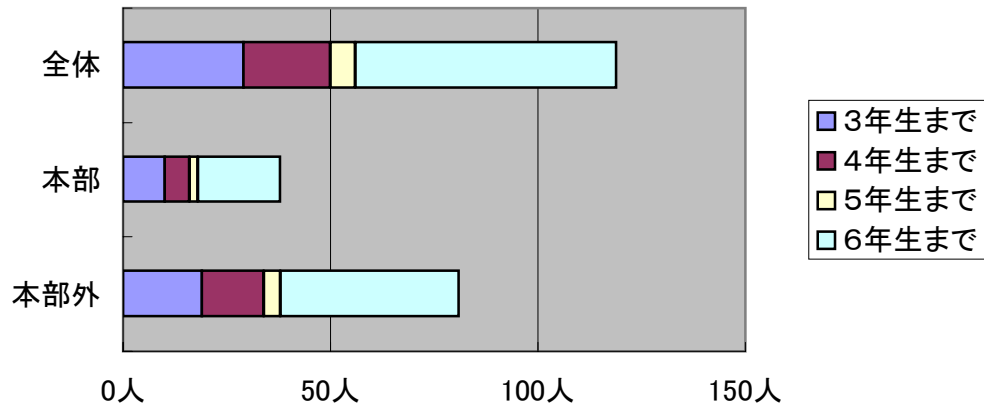


6. 学内施設利用希望(土日等)

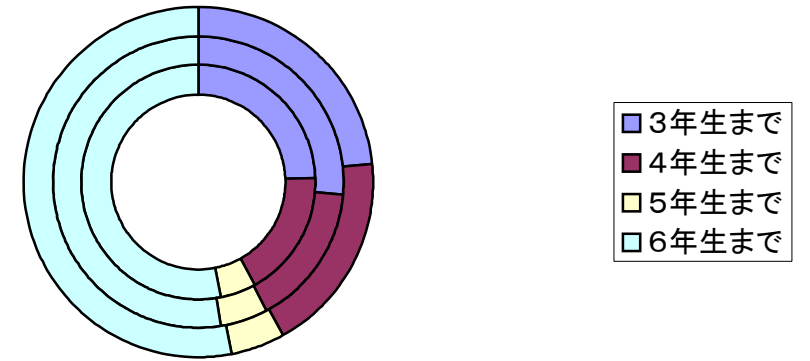


※内側から全体, 本部, 本部外の順

7. 保育希望上限学年(平日)

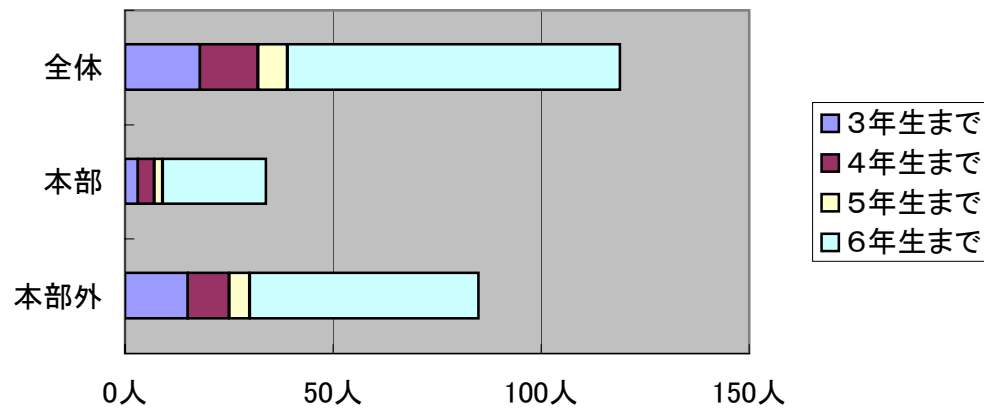


7. 保育希望上限学年

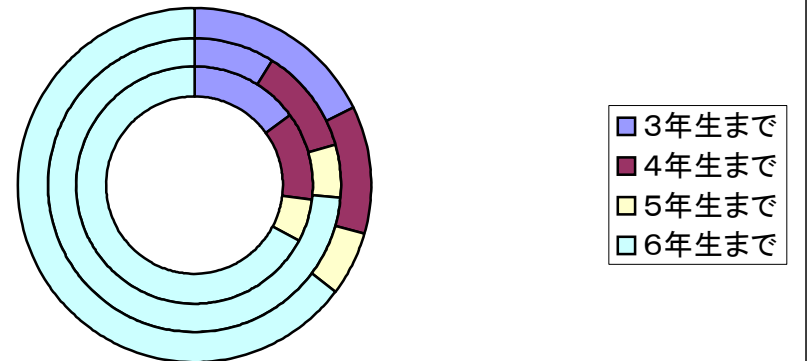


※内側から全体, 本部, 本部外の順

7. 保育希望上限学年(土日等)

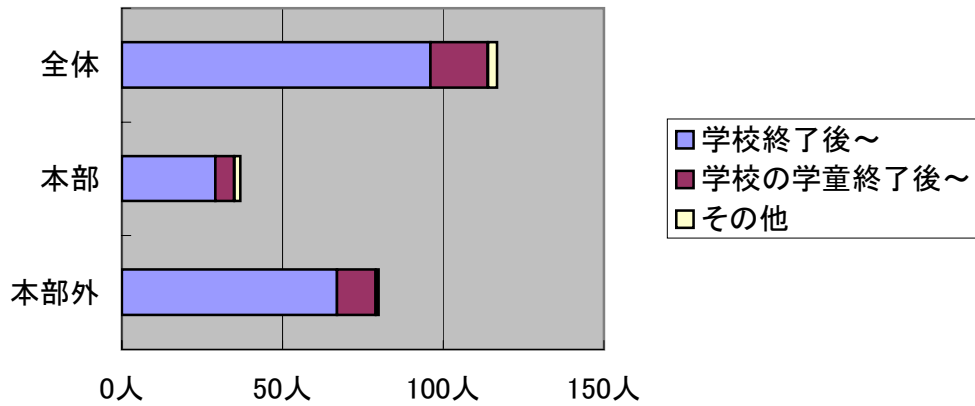


7. 保育希望上限学年(土日等)

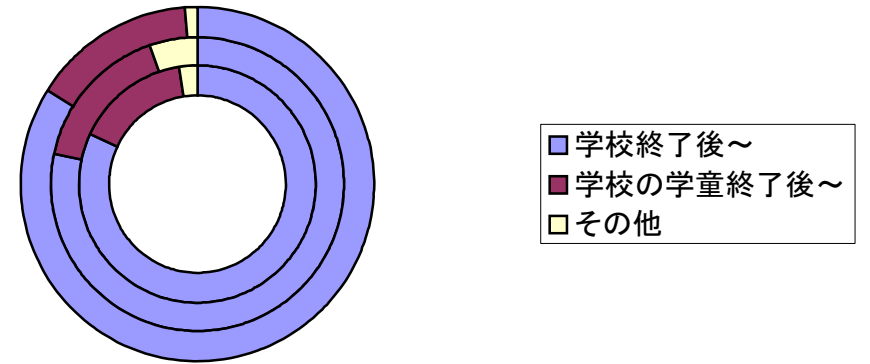


※内側から全体, 本部, 本部外の順

8. 保育希望時間(平日・開所)

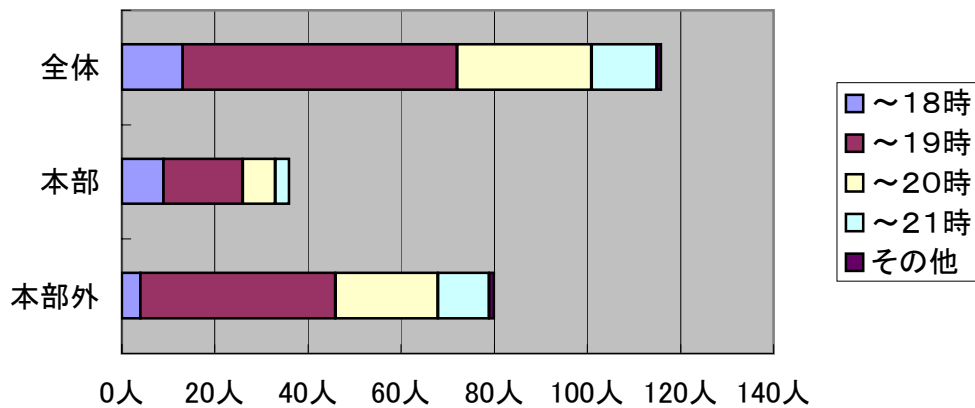


8. 保育希望時間(平日・開所)

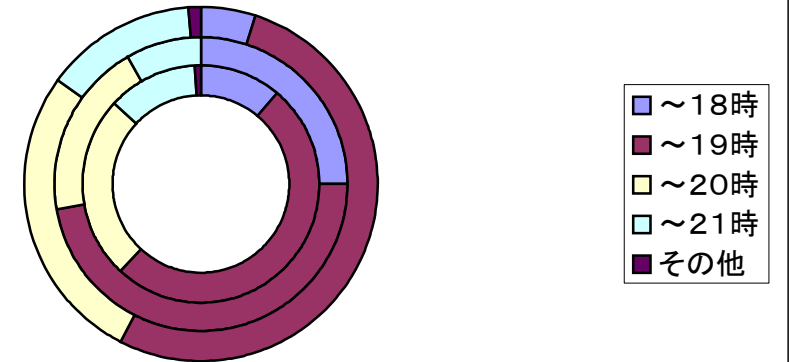


※内側から全体、本部、本部外の順

8. 保育希望時間(平日・閉所)

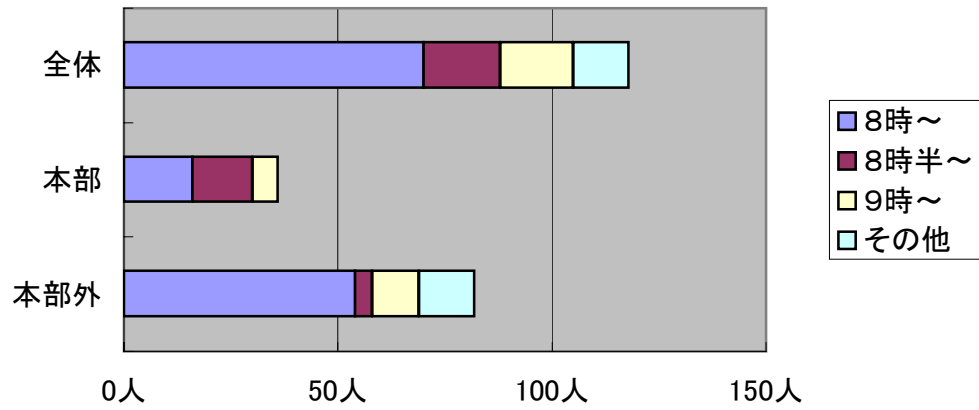


8. 保育希望時間(平日・閉所)

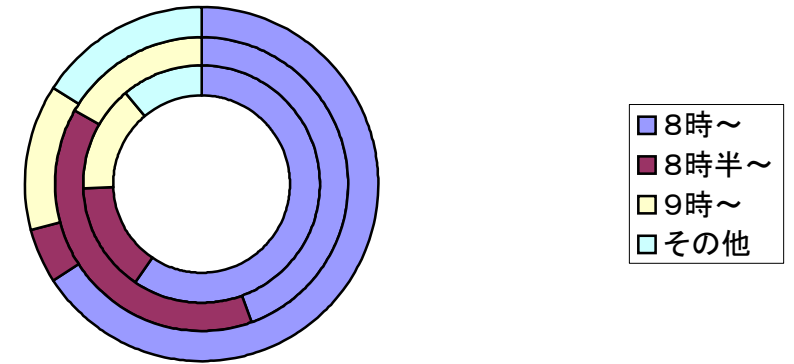


※内側から全体、本部、本部外の順

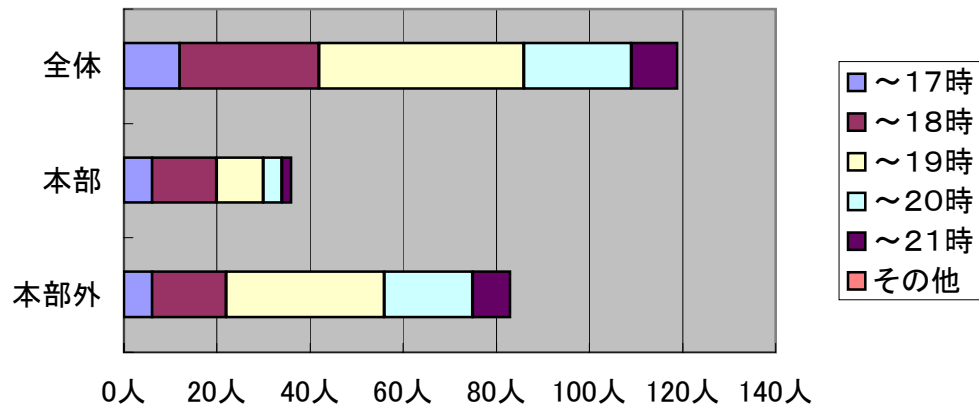
8. 保育希望時間(土日等・開所)



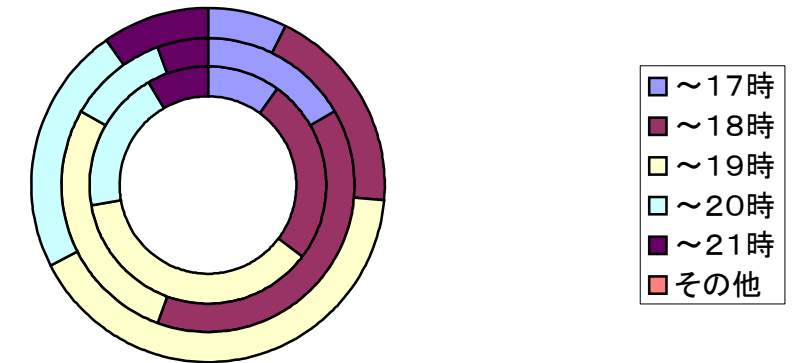
8. 保育希望時間(土日等・開所)



8. 保育希望時間(土日等・閉所)



9. 保育希望時間(土日等・閉所)



アンケートの自由記述への回答一覧

6. 保育希望（ア）平日（「預けたい」理由・条件）

○設置場所について

- ・職場に近く安心だから。
- ・職場に近いので精神的に楽であることと、何かあったときすぐに対応できる為。
- ・仕事をしているので。

○施設があることについて

- ・子供の交流の場，教育および親の時間確保のため
- ・現在は1人で（学童後に）るすばんをさせている。様々な事件が新聞にのるので不安。
- ・小学校にまだ入っていないので分からないが，あったらよいと思います。
- ・学区関係なく，勤務していれば，誰でも預かってほしい

○利用中の学童保育の補完

- ・市立の小学校の学童保育は3年生までしかなく，きめ細かい対応はなかなかとってくれない。

○現在の不都合等

- ・配偶者は他大学勤務。5限目の授業や教授会の終了時刻を鑑みると子供たちを大学近辺（大学内）の学童保育に預けざるをえません
- ・少なくとも小学校低学年までは，小学校終了時間後の様子を見る大人の存在が必要だと思われるが，家庭内に存在しない。
- ・家内が専業主婦ですが，看護婦免許を持っており，就業させてあげたい

6. 保育希望（ア）平日（「条件があれば預けたい」理由・条件）

○勤務場所

- ・現在の居住場所が津島地区であり，妻に所用がある場合の送迎に勤務時間への支障を来さなくてすむから。
- ・共働きなので，小学生だけで留守番させるには，当人たちの能力や昨今の世相に不安がある。ただ，今までお世話戴いている学童保育の指導内容とあまり違いがあると当人も困惑すると思う。
- ・何かあれば，すぐ行けるし，迎えも近いので。
- ・職場から近いこと
- ・職場に近い方が，帰りに連れて帰るのに便利だから。
- ・勤務地が津島ならば預けたい。

○有資格者等相応の人材の配置

- ・面倒をみる人が学生などではなく，保育士や教員の免許をもつという条件
- ・責任ある指導員が配置されていること

○不定期

- ・通常は不要であるが，不定期的に預かっていただけるなら利用したい。特に家内が病院などに行く場合，子供だけで留守番させるのは不安。

- ・夫婦で会議や講義が重なった日に、利用したい 条件：一度帰宅し、子どもを連れて学童までいけるかどうか（時間的問題）
- ・体調不良とか学校の行事とかでどうしても預けなければならないときがある。
- ・鹿田地区から津島への移動が困難なため、通常は預けられない状況ですが、宿直などの代休などの場合は預けたいです。
- ・妻が病気の時など

○開所時間

- ・学校から戻っても5時過ぎであり、家人が戻るのはもっと後であるため、夜7時くらいまで開いている、等であれば、迎えにいけるし、安心である。
- ・19時くらいまで開いている園なら。
- ・来年入る予定の小学校の学童保育では、5時（冬季は4時半）までのため帰宅が間に合わないので、7時頃まで見てもらえるなら預けたい。ただ、小学校から少し距離が遠く、学区も違うので、通えるかどうかわからない。まだ先のことでわからないが、学区の学童保育は小学3年生までなので、小学4年生以降条件があれば預けたい。
- ・預かっていただける時間による
- ・値段と時間帯による。
- ・現在、小学校に設置されている学童保育では、就業時間をカバー出来ない
- ・保育時間
- ・開所時間が短すぎると、高学年の場合学童保育に行く意味がない。学校から大学まで自分で来させても、親の勤務終了時に迎えにいった一緒に帰れるようならとても助かる

○保育方針・内容

- ・保育方針や内容により検討したい。
- ・病児保育も可能な幼稚園なら。
- ・学区でない所がネックではあるが、条件がよければ夜勤等の場合利用したい。
- ・経済面、保護者に求められること（当番等）、その時の住所、時間、学年、等

○送迎があること

- ・帰路が親と一緒にだと安心。しかし親だけが遅くなる日には、どうしたらよいだらうという心配もある。一人で帰れる距離ではないし、一人で来られる距離でもない。送迎が条件かもしれない。本学勤務者で送迎なしで通える者は、かなり少ないのではないかと迎えてだけでも欲しい。
- ・津島地区に事業所内学童保育施設までの送迎が可能なら。
- ・遠距離なので、交通の便による
- ・津島まで小学校が終わって1人では行けない
- ・自宅から学童保育施設までの距離
- ・子供の送迎が実施されるのであれば。

○ハード面

- ・小学生が毎日、比較的長い時間を過ごすのに適した場所（屋内・屋外）が整備されていること

○初期トラブルの解消

- ・立ち上げたばかりだといろいろと問題もあると思うから。

6. 保育希望（ア）平日（「預けない」理由・条件）

○設置場所

- ・場所が遠い
- ・自宅と研究所が津島から遠いから。
- ・自宅から遠いので、預けるメリットがない。
- ・通学している（する予定）の小学校から遠いので不可能
- ・距離的に離れているから。
- ・通学している小学校から離れているため
- ・学区が違うため
- ・小学校から距離が非常に離れているので、実質不可能。
- ・津島までの交通手段が確保できないから
- ・学区が違うので預けられない。
- ・遠いから
- ・通学することになる小学校から遠いため。
- ・通うと想定される小学校の場所と津島は遠いため
- ・遠方のため
- ・住居が大学の近くでないため。
- ・家、職場から遠いから
- ・小学校から津島まで遠いから
- ・近所でないから
- ・学区からも自宅からも職場からも遠いので、毎日の送迎の方が大変
- ・自宅及び学校から距離があるため
- ・遠いので毎日に行けない
- ・放課後に津島まで連れて行くことができない
- ・遠すぎる
- ・家から遠く、子供だけでは通えない
- ・遠い（家からも職場からも）
- ・遠いから
- ・自宅から遠い
- ・小学校から1人では行けないので
- ・遠方なので。
- ・家が遠いため
- ・遠い。おくりむかえができない。
- ・仕事場への通勤とは反対方向なので考えていません
- ・就業場所から遠い
- ・学童保育を何時まで可能かにもよる。通常、17 or 18時までなので、それまでにおむかえに行くことができない。又、家との方向が逆で、子供はどうやって学校後津島

まで行けば良いのか？

- ・自宅から遠く、小学校が終わって津島まで行けない。
- ・家から遠いので
- ・家から遠いので
- ・自宅から遠い
- ・家が遠い
- ・通勤・通学に不便
- ・小学校から遠い。送迎ができない。
- ・場所が逆に遠い
- ・遠方だから
- ・自宅が倉敷のため
- ・小学校から子供だけが学童施設に通えないため
- ・学区外で遠方で預けることができない
- ・学区がちがうので
- ・遠い（自分で行けない）
- ・自宅・職場から遠いので。
- ・学校から遠い為
- ・職場・自宅から遠い為
- ・居住地と津島地区が離れているため、子どもが自力では、小学校→学童保育施設に移動できないから。
- ・現住所および小学校から遠いため
- ・勤務校から離れているため
- ・むかえにいけない
- ・学校，家から遠い
- ・物理的に預けることが不可能である。
- ・東山地区から遠い。迎えに行く時刻に学校を出られない
- ・自宅から遠いため
- ・総社市在住のため，平日の利用は不可能
- ・子供の通っている小学校が倉敷市内なので通えません。
- ・私は倉敷地区に勤務しているので，遠いから預けられないです。
- ・津島地区が，自宅と職場からやや離れているため
- ・勤務地が鹿田なので送迎時間を考えると外部保育施設と変わらないので。
- ・居住地が平井で，職場が鹿田地区なので，津島まで毎日預けに行くことは出来ません。鹿田地区に設置されるなら，利用したいです。
- ・鹿田地区に勤務しており，自宅が東山方向のため．津島地区勤務で自宅も津島近辺であれば，就学年齢になれば預けると思います。
- ・鹿田地区に勤務の由
- ・鹿田地区に勤務しているため，津島地区の設置に関しては利便性がないため
- ・今のところ，職場は鹿田地区なので
- ・場所が遠い。鹿田地区または自宅近くにあれば預けたい

- ・勤務先と自宅が鹿田学区内にあるので、不便。
- ・鹿田に勤務していて遠方なので

○必要性

- ・母親もパートに出る日でも16時30分ごろには帰宅しているため。
- ・母親が子どもの修学時間帯程度の労働を望んでおり、保育に支障がないため
- ・子供が小学5年であるが、家内が主婦で無職なので、家内が面倒を見るので預ける必要がない。子供が小さいとき、家内が病気を患っていたときには、学童保育施設があればいいのになあとよく思いました。若い先生方のためには是非、設置して下さい。
- ・妻が、午後には家にいる。
- ・母親が家にいるから
- ・現在のところ、妻が子育てに専念しているため
- ・妻が家にいるため。
- ・妻が家にいるため
- ・妻が育休中だから。育休が終われば預けたい
- ・妻が自宅にいるため
- ・妻が家にいる予定であるため。
- ・私の両親が自宅にいるので、必要はない。
- ・祖父母が見てくれるから。
- ・実家で面倒を見てもらう予定のため
- ・今のところ祖父母が同居しておりその必要がない
- ・家庭で対応できているため
- ・小学校にはすでに小学3年生まで利用できる学童施設が設置されており利用していました。子供に学童の必要がないと思うので預けません。
- ・大きくなったから
- ・もう大きくなったので。
- ・現在は、必要を感じない。
- ・必要なし
- ・必要性がないから
- ・勤務時間が午前中のため。
- ・単身赴任中だから

○学区に学童がある

- ・小学校にも学童保育施設があるため。
- ・宇野小学校の学童保育で問題ないので。
- ・御野小に学童保育施設があるので
- ・1、2年生だったら考えるが、小学校にある

○子供の友人関係等

- ・地域の同年代の子ども達と関わりが無くなるので子どもの友人関係、学校での生活にも支障がでると思われる。
- ・子どもは子どものソサイエティが確立しているべき。通う学校の子どもと一緒に保育できるならその方がよい。もちろん労働状況によってはこの限りではない。我が家の

場合のみ。

- ・習い事に通わせたいから

6. 保育希望（イ）土日等（「預けたい」理由・条件）

○就業支援

- ・助かります。

○学区の学童等の補完

- ・学校の学童保育が三年生まで、その後のニーズがあります。
- ・津島小の学童保育は小3までしか受け入れないので、高学年児童の休暇中の保育に困っているから
- ・現在行っている学童保育は人数が多く、3年生くらいから預けられないかもしれない。長期休暇中など子供が1人ですぐすにはまだ小さいと思う。
- ・現在行っている学童が（土）（日）（祝日）休みのため
- ・三交替のため土、日もほとんど勤務している。祖父母以外にも預けられる場所は必要

○子供の有益性

- ・子供同士の交流の場として
- ・学区外の小学生と接することは、子どもにとって有益だと思うから。
- ・夏休み期間の預け先に困って、塾などの予定を詰め込むという話を聞いたことがある。そういう保育難民にならないために、利用したい。休暇中なら、むしろ親と一緒に来やすく、学期中よりお迎えの心配が少ないのではないか。
- ・夏季休暇などの長期休暇は、小学生は1日中家にいることになるため食事、教育、安全の観点から大学近辺の学童保育に預けたいと考えます
- ・土日は両親が子供の相手ができるので必要ないが、子供の長期休暇中に子供の相手のできる大人がいないため。

6. 保育希望（イ）土日等（「条件があれば預けたい」理由・条件）

○長期休暇中のみ

- ・土日祝日は私も休みなので必要ありませんが、長期休暇中はお願いしたい。
- ・子どもが長期休暇だけ別の学童保育に行く事を了承すれば。また、小学校区の学童保育でそれが了承されれば
- ・まだ保育園なので学童保育についてよく理解していないが、長期休暇中に利用できるようであれば利用したい
- ・現在通っている保育園で学童保育を行っているので、長期休暇の間はそちらに預ける予定であるが、時間等の条件があれば、預けたい。
- ・長期休暇中朝から開設しているのであれば預けたい
- ・夫婦で入試や会議が重なった場合 長期休暇の場合は、ほとんど一人で留守番させている
- ・長期休暇中も、保育する親戚等がいないため、預けざるを得ない。

- ・長期休暇中の日中は子どもがひとりになるため預けたい。
- ・長期休暇中の平日は、どこかへの学童保育へ預けることになるため、子供を預けられる状況（交通手段、時間など）であれば、依頼したい。
- ・夏休み期間中も預けられる環境にあること。また、延長保育も可能なこと。
- ・土日祝日は自分も休みなので今のところ必要ないが、長期休暇中は学区の学童保育は時間が短いので条件があえば預けたい。
- ・夏休み期間だけ預けたい
- ・長期間の休みに一人で留守番させるのは、不安。
- ・夏休みなど、時間が長いので心配。また、本人も退屈しそう。
- ・土日は預けない。長期休暇中は、実際に預けるかどうかは別として、預かってくれるところがある、ということが安心して働けることにつながると思います。学校の敷地内にある学童は長期休暇中のみ預けることはできないというところが多いと思います。

○学外の学童・施設の補完

- ・現在、日祝日などは、保育してもらえる施設が近隣にない為
- ・小学校の学童に預けられない4年生以上になり、津島の学童で受入可能なら
- ・時間帯などに近隣の学童保育では制限があるので
- ・小学校の学童を利用できない日に利用したい

○不定期

- ・通常は不要であるが、不定期的に預かっていただけるなら利用したい。特に家内が病院などに行く場合、子供だけで留守番させるのは不安。
- ・通常は必要ないが、保育施設があれば、急な事情が生じたときに便利だから。
- ・土日も業務があることが多いので、できるのであれば預けたい。
- ・日曜日、祝日は宇野小学校の学童保育は休みになる。仕事の都合でどうしても必要な場合は預けることも考慮したい。
- ・土日は、やむを得ない場合に預ける場所があることは、とても有り難い。
- ・休日出勤する場合があるため
- ・体調不良とか学校の行事とかでどうしても預けなければならないときがある。
- ・いつもではなく、仕事がある場合のみ。
- ・やむを得ず何かの理由で見てやれないときに預けられる施設を確保しておきたいため。
- ・ほとんどが休みで困る事があるので、休日にあづかってもらえると助かる。
- ・土日仕事がある場合に預かってもらえれば、助かると思います。
- ・夫婦で用事がある場合など

○保育内容

- ・給食 ・遠足やお泊まりなどのイベント（主に夏休み）
- ・預かっていただける時間による
- ・平日預けるなら休み中も慣れた環境が良いと思うから。
- ・条件次第では考える余地があるかも知れない
- ・保育時間

- ・条件がよければ預けたいです。

○勤務場所

- ・津島地区に勤務した場合は，利用するかもしれないです。
- ・勤務地が津島ならば預けたい。

○設置場所

- ・遠距離なので，交通の便による
- ・自宅から遠いので鹿田地区など近い場所ならぜひ預けたいです。（安心して勤務できます）

6. 保育希望（イ）土日等（「預けない」理由・条件）

○設置場所

- ・自宅と研究所が津島から遠いから。
- ・自宅から遠いので，預けるメリットがない。
- ・居住地から離れているため
- ・家からも距離が離れているので，実質不可能。
- ・遠方のため
- ・近所でないから
- ・津島は，自宅からも職場からも遠いため
- ・家から遠いし，子供だけでも待ってられるから
- ・遠い（家からも職場からも）
- ・遠いから
- ・自宅から遠い
- ・遠方なので。
- ・遠い。おくりむかえができない。
- ・就業場所から遠い
- ・自宅から遠く，小学校が終わって津島まで行けない。
- ・家から遠いため
- ・家から遠いので
- ・自宅から遠い
- ・通勤・通学に不便
- ・場所が逆に遠い
- ・遠方だから
- ・遠い（自分で行けない）
- ・職場・自宅から遠い為
- ・学校，家から遠い
- ・津島地区が，自宅と職場からやや離れているため
- ・勤務地が鹿田なので送迎時間を考えると外部保育施設と変わらないので。
- ・居住地が平井で，職場が鹿田地区なので，津島まで毎日預けに行くことは出来ません。鹿田地区に設置されるなら，利用したいです。

- ・鹿田地区に勤務しているため、津島地区の設置に関しては利便性がないため
- ・場所が遠い。鹿田地区または自宅近くにあれば預けたい
- ・遠い。鹿田地区にあれば考える
- ・鹿田に勤務していて遠方なので
- ・自宅が倉敷のため

○必要性

- ・私の両親が自宅にいたので、必要はない。
- ・祖父母が見てくれるから。
- ・祖父母に預ける
- ・実家等に預けることが可能である。
- ・祖母と同居なので一応子供だけにはならない
- ・今のところ祖父母が同居しておりその必要がない
- ・子供が小学5年であるが、家内が主婦で無職なので、家内が面倒を見るので預ける必要がない。子供が小さいとき、家内が病気を患っていたときには、学童保育施設があればいいのになあとよく思いました。若い先生方のために是非、設置して下さい。
- ・現在のところ、妻が子育てに専念しているため
- ・母親が子どもの修学時間帯程度の労働を望んでおり、保育に支障がないため
- ・妻が家にいるため
- ・妻が自宅にいます
- ・妻が家にいる予定であるため。
- ・夏休み中は小学校でいろいろな企画が催され、参加して計画的に過ごしています。4年生ぐらいまでは夏休みに学童保育があればよいのには思うのですが来年以降は必要ないと思うので
- ・万一、両親が不在でも大学生の姉・中学生の兄もいるため。また、もし両親や兄弟が用事・部活動・サークル活動などで留守にする場合、一時的に預かってくれる知人もいるため。
- ・休日は基本的に家族で世話をする予定のため。
- ・家庭で保育するため。
- ・誰かが家にいるので預ける必要がない
- ・家庭で対応できているため
- ・現在は、必要を感じない。
- ・必要がない
- ・必要性がほとんど無い
- ・必要性がない
- ・休日に預ける必要がない。
- ・大きくなったから
- ・もう大きくなったので
- ・子供は一人でも家で過ごすことが可能。
- ・非常勤なので。
- ・単身赴任中だから

- ・現在、基本的に土日はお休みだから

○子供の有益性

- ・やはり、地域との関わりを重視したいことと、習い事等継続できなくなるので。
- ・子どもは子どものソサイエティが確立しているべき。通う学校の子どもと一緒に保育できるならその方がよい。もちろん労働状況によってはこの限りではない。我が家の場合のみ。
- ・子供同士の面識がないので、子供が行きたがらないと思う。
- ・休みの日は子供と一緒に過ごすべきだと思います。ただし、津島地区に勤務していたら、長期休業中は預けたいと思うかもしれません。
- ・土日・長期休暇中は、子ども会に参加したり近所にある習い事や学習塾に通っている。
- ・家族一緒に過ごす時間にしたいから
- ・友達ができにくい

8. 保育希望時間（平日）開所時間

- ・ 8：30～（回答者1名）
- ・ 12：30～（回答者1名）

8. 保育希望時間（土日等）開所時間

- ・ 6：30～（回答者1名）
- ・ 7：00～（回答者6名）
- ・ 7：30～（回答者4名）
- ・ 7：45～（回答者1名）

9. 要望、意見等

○料金

- ・回答させていただいた内容は、どちらかという託児施設に近いものを想定していません。ですので、支障があれば、アンケートから削除していただければ結構です。私個人は、託児施設の方が職員の職場環境の改善には必要かと思います。以前に、文科省の「かすみがせき保育室」を利用しましたが、勤務日のみ1ヶ月の利用食事や延長保育も含めて10万円近くかかったと記憶しています。託児所であれ学童保育であれ、フルで活用される教職員の方のことも考えて、安価な設定の検討をお願いできればと思います。
- ・鹿田の保育施設は、料金が高いとお聞きしました・・・。
- ・おやつや人件費等は、¥5000以内ぐらいであればいいと思う。
- ・現在の学童保育は、新校舎でその費用は約3500円。元々の保育料は6500円で計1万/月支払っています。その他、入会金約2万円必要で、かなり時間給から換算すると高額かもしれません。

○保育方針・内容

- ・現在お世話戴いている所は、宿題をする、施設内外で安全に遊ぶ、おやつを出してあげる、と言った家庭での延長のように保育されている（と思っています）が、これで良いと思います。
- ・夕食は、生協の食堂を利用してはどうか。あるいは、生協弁当を予約販売することもできるだろう。ロールパンなどの軽食を配って、夕食までのつなぎにすることも、考えられる（これも生協のものを使えばよい。冷蔵庫を借りるなり、買うなりする）。送迎は、シルバーセンターなら時給700円くらいだろう。実費で車を出してもらうか、バスで連れてきてもらう。グループで雇用すれば、都合をつけあって、人を確保しやすいだろう。ファミリーサポートセンターも700円だったと思うが、個人間の契約が基本なので、この事業には難しそう（しかし個人単位で頼むなら、ファミサポにするだろう）。拠点学校をいくつか決めて、各学校の学童の終了時間に合わせて、お迎えに行ってもらえばよい。大学学童がなければ、結局ファミサポに頼むことになるので、経済的な負担はさほど変わらないだろう。あるいは6年生まで入れるなら、学校ごとに上級生が引率して、バスに乗ってきてもらう方法もある。バスに乗るところまでを、地元の人に頼むという簡略化した方法もある。マイクロバスを手配するのは、費用がかかるだろうが、お金があるなら検討して欲しい。日常の宿題や夏休みの宿題ができるように、勉強できる部屋を用意して欲しい。アドバイスできるような学生バイトがいるとなおよい。
- ・長期休暇中にイベントを企画し、そのイベントに参加するという形態だと、単発的ではあるが、需要があるように思う。例えば、室内でするのであれば、クラフトや粘土細工、絵画などの工作教室や、英会話、留学生に出身国の話をしてもらい、化学実験講座など、各種講習会。屋外であれば、バーベキューとか、オリエンテーリングなど。
- ・岡山大学：教育学部という教育に関する専門家が多く在籍されているし、これから未来の先生となる人材もたくさんいるので、特色ある学童保育にして欲しいです。長期であれば、海でのキャンプや自然の中での冒険などが、あるとうれしいです。
- ・建物内での勉強だけでなく、外で遊ぶこともとり入れてほしい。
- ・市内で行われている学童の保育内容のような感じで、宿題を見てもらったり、軽食がでたり、十分に子供達と関わってほしい。
- ・夕食時間をこえて開所している場合、夕食を保育所を出してほしい。
- ・給食サービスも欲しい。病児保育も欲しい。
- ・長期休暇中の昼食や平日のおやつなどすべてでなくてもよいが、準備されていると助かると思います。
- ・保育方針も含め安心して預けられる施設であることを望みます。
- ・保護者の意見をよくとり入れてきめ細かい対応をとってもらいたい。
- ・それぞれの職に合わせた運営をしてほしい。教職員だけが望んでいることではないと思うし…。
- ・基本的な安全性が確保されることは勿論重要だが、単なる居場所の確保ではなく、子供の生活にとって意味のある場所—しっかり遊び、異年齢の子供たちの関係が作れる場であってほしい。そのためには、指導員任せではなく、保護者の関与がある程度求

められてもよいと思う。

- ・このアンケートによれば、津島地区における学童保育施設の設置を検討するとのことであるが、近隣の津島小学校等大半の小学校では既に学童保育が実施されており、それ以外の地区に居住する職員が津島地区に設置された学童保育の施設を利用すること自体ほとんど不可能である。通常の学童保育の時間が終了した後に子供を預かってくれる施設をということでの提案であるにしても、利用できるのは津島地区に居住する職員だけであり、大半の職員が津島地区に居住しているというわけではなく、一部の職員しか利用できないような施設を大学の施設として設置することはいかがなものかと思える。通常の学童保育について検討いただくよりも、共働き等で子育てをしている職員の大半がかかえている問題である病児保育について御検討いただきたい。子供が急に熱を出したような場合に、預かってくれる施設はほとんどなく、一日だけならまだしも、インフルエンザ等に罹った場合は、親が連続して休暇を取らざるをえず、二人以上の子供が連続して羅漢するようなことがあれば、一週間以上の期間にわたって勤務に支障を来すことになりかねないのが現状である。したがって、このような状況を御理解いただき、病児保育について御検討いただきたい。

○指導員、設備

- ・設置するのであれば、国立大学の学童保育施設としてきちんとした指導員や設備をとるべき。
- ・施設外に連れ出しても安全な位の人員の確保を希望します。
- ・幅広い年齢の子供が一同に集うのでしっかりまとめられる先生をお願いしたいです。先生の年齢層も幅広くお願いします。
- ・通常の学童保育は、運営がその学童ごとで違い、保護者に負担がかかりがちである。学童の先生方の人数をしっかり確保してほしい。
- ・指導員の方は保育士資格を有する人がいいと思う。指導員の方は、人数を充実させて欲しい。運営体制は外部委託ではなく、大学で運営する方が良い（意見、方針を伝えやすい）。
- ・安全を確保してほしい。子供の人数にみあった施設と、外でも遊べる広さがほしい。子供の人数にみあった人員を確保してほしい。
- ・施設については、運動量の多くなる小学生に充分対応出来るものであってほしいと思います。
- ・子供たちが安全に過ごせる空間作りを行って欲しい
- ・衛生・安全面、時間の延長などの配慮・施設の広さなどを御検討いただければいいと思います。又、学童保育の指導員のある程度の質も必要で、時々勉強会や会議などに出席されて、現状の問題点など解決しながら質の向上が図れるシステムも必要と思います。
- ・室内だけでなく屋外でも遊べるスペースがあればよいなと思います。

○不定期

- ・これからの時代には保育施設は必須です。私の場合は、今となっては、そのような施設の必要性はなくなりましたが、このような施設があればいいのになあと考えたことが何度もありました。若い先生のために是非実現して下さい。また、臨時で使用でき

るようにした方がいいと思います。家族が病気になったとき、利用したいということもあると思います。

- ・平日・休日にかかわらず預かっていただける施設が必要と考えます。(時間も関係無なしで) 妻は現在育休中ですが、復職すると交代となります。私は基本的に日勤ですが、遅くなると夜中の12:00頃になることもよくあります。また、学会等の出張も多いため、今後が不安です。急な対応をしてくれる施設があると助かります。

○長期休暇

- ・平日はともかく、春・夏・冬の長期の休みだけ利用したいと言う人もいると思いますので、一時保育のような制度を取り入れて欲しいと思います。その際、通常学童保育は3年生までですが、長期の休みの場合だけは、対象学年を上げて、対応して欲しいと思います。
- ・長期休暇中にはただ単に預け入れるだけでなく、さまざまなイベント等の企画があってもよいと思います。
- ・夏季、冬季休み期間は、少し早めに開所してもらえると出勤に都合がよい。
- ・休日、長期休暇中のみでも行くことができるようにしてほしい。
- ・夏休みなどの長期休暇の時など、臨時で預かってくれる学童保育が就業場所にあれば必ず利用します。パートの場合、学校の学童に入れるのが勤務時間がみじかいなどの理由で利用できない事もあるとか…。そういった時、高いお金を出しても身近で、信頼できる所で預かってくれるというのなら利用したい。

○開所時間

- ・普段小学校の学童に入っている子は長期休暇中もそこに通うと思われるので、利用する人は津島周辺に住んでいる人か、学童のない年齢の児に限定されると思う。親としては、保育園と同じで、親が仕事が終わるまで預かってくれるのが都合が良いだろうが、実際に開園するときには預けられる子供の気持ちや生活にも配慮した保育時間にしてほしい。(例えば、21時まで開園しているからと言って、毎日21時まで預けられるような子供がいたら、それは良いことではないと思う。)

○設置場所(交通手段)

- ・うちは家内がたとえ働きに出たとしても、小学校の近くでなければ保育をお願いする可能性はないと思います。いいことだと思います。
- ・学童保育は各小学校から連れてくるのに、交通の便を確保するのが問題で、実際利用しにくいと思います。
- ・昨今の治安の悪化により移動時の安否を心配する父兄が多いと思われるので、少なくとも受け入れ人数の多い小学校には授業終了後に一斉に学童保育所までの送迎を行うシステムが必要だと思います。
- ・交通の便の良い所がよい。
- ・小学生以上の、るす家庭の子供の保育は、基本的には子供が生活している地域全体で行うのが理想的だと思います。未就学児の保育所は、事業場内にあるのは非常にありがたいのですが、小学生の学童保育は、職場にあっても地元を利用すると思います。
- ・津島地区に施設ができた場合、各小学校からその施設まで子供がどういう交通手段で通ったら良いのか検討して頂けると有難いです。

○鹿田地区

- ・鹿田地区でもぜひ検討して下さい。
- ・学童保育は、学校終了後に預けることになるので、鹿田地区近辺在住者にとって、津島地区まで連日連れて行くことは困難です。可能なら、鹿田地区にも設置して下さい。
- ・鹿田地区の事業所内託児施設はありますが、そのスペースを拡大して、事業所内学童保育施設を設立していただけると一番助かります。津島と鹿田では移動時間のロスが多くなるため。
- ・できれば施設は病院内に作ってほしい。バスの便もよく、仕事終了後に一緒に帰宅できる。

○未就学児の保育

- ・未就学児を預けることができる施設ができれば利用を検討したい。
- ・各学校に同じような組織がある場合、通学路のこと、迎えのこと、安全のことなどを考えると、各学校の保育の方が利用しやすいと思います。対象が未就学児なら利用しやすいのでは、と思います。

○その他

- ・子を持つ親としては、このような取り組みは本当にありがたく思います。個人的にも支持・支援させていただきたいと考えております。
- ・保育所（未就学、学童）の整備は岡山大学規模の事業所としては必須であると考えます。よりよい育児環境の整備をお願いいたします。
- ・就学児童の有無などのデータを大学側は把握していないのでしょうか。また、非常勤職員に女性が多いと思われるので、そちらからもアンケートに答えて頂く必要があると思います。津島地区は官舎も併設されており、子供の学区もキャンパスに近い為、津島地区内での学童保育は必要だと思えます。津島地区と鹿田地区では状況が異なっているので、アンケート実施の周知は必要ですが、アンケートの条件を分けるなどされてはいかがでしょうか。
- ・まだ子どもが1歳になったばかりなので、学童保育に関しては漠然としたイメージしかありません。保育園に行っている間はいいけれど、小学校にあがったら放課後や長期の休みはどうするかを考えないといけません。その上で、学内に預かってもらえる施設があれば安心できるし、大変ありがたいなと思います。
- ・来年4月から小学校入学となり、不安も大きいので、このような話があることは、大変有り難いことです。保育園までは融通が利く、むしろ小学校に入ってからが大変であることは、父母にとっては周知の事実ですが、実際は制度が整っていないのが現状ですので、設置を切に希望します。
- ・設置されれば大変有意義だと思います。
- ・津島キャンパス内に保育園、学童保育施設の設営を強く希望します。教育学部の学生さん等の学生実習場所としても提供できますし、学生アルバイトでの保育も可能かと存じます。安心して子育てをしながら、働ける環境を提供していただければ、さらに仕事もがんばれると思います。また、もし可能であれば、モニターを設置し、Webで保育状況が見られる施設を希望します。何とぞよろしく願いいたします。
- ・学童保育所が出来るととてもありがたいです。特に夏休み期間は困りそうなので…。

私立の小学校に行く事になった時、学童がないので、とてもうれしい。

- ・学童保育には学区のものに通っていました。学校の友人とのつながりの延長でたのしくすごしていました。職場つながりの学童保育施設は、子供にとって、新しい人間関係になるので、それがたのしめる子供もあれば、負担になる子供もいるかもしれないと思います。もし、利用するとすれば、祖母の体調不良等で短期で利用するかもしれません。
- ・学童保育は、小学校が終わってから行くところなので、実際に行く小学校より離れているとむずかしい。しかし、大学として取り組んでいるのは、ありがたいし、がんばってほしい。
- ・学校に設置されている学童保育も親の負担が大きい。親によっては保育方針で高く望まれることが多い。人数の割合に対して施設が不十分であるなど様々な問題があるようです。私的な意見ですが、働く親にとっては、安全で安心して預けられることが一番であり、親の負担などは後の問題ではないかと思います。津島学区に学童ができれば同じ条件で働く親たちの子どもなので協力も連絡などもいきとどくように思います。未就学の子供が2人いるのでぜひ学童保育ができれば預けたいと思います。
- ・他学年との交流がもてて良いと思う。
- ・学区の学童は入所時の審査が厳しく、来年度入れるかどうかもわかりません。平日はともかく、長期の休暇中子どもだけで家で留守番させるというのは不安です。安心して働く為には、学童施設がもっと多く有ればと思います。津山の方では、スイミングスクールが運営している学童施設が有り、各学校をスクールバスが回ってくれるので、学校から遠くても子どもを預ける事ができていいなあと思います。
- ・今回のアンケートには倉敷地区で働く私にはあまり関係ないので、特に多くを書きませんでした。ただ、実は私は子供の小学校の学童保育で6年間、運営委員長をしていました。その経験から感じたことを書きますので、参考にしてください。まず基本的には小学校の放課後は、やはり移動距離の少ない同じ小学校内の学童保育が一番望ましいと思います。小学校と学童保育が遠かったら、その移動中に何が起こるか分かりませんので、逆に心配になります。ただ、倉敷市の学童保育はほとんどが午後6時までしか見てくれないのと、小学校3年生までしか行けません。また長期休業中だけ必要という方もあんがい多いので、職場で長期休業中だけでも学童保育で5、6年生まで見てもらえると、助かる方が多いと思います。それから、学童保育の運営は基本的に運営委員会という保護者や地域の人、指導員の方などで運営しています。しかし、学童によってその運営はまちまちで保護者主体できちんと全てを分担して運営しているところもあれば、長年働いている指導員の方が全てを牛耳って、自分の思い通りに運営しているところもあります。市は補助金を出しているだけで、運営にはいっさい関与していないので、学童によってはもめごとが多いところもあります。もちろん、自分の子供を見てもらっている以上、学童保育の運営に協力することは当たり前だと思いますが、運営委員会の役員になって色々ボランティアでしていると、ただでさえ仕事で疲れている上に、この役員の仕事が重なり、他にも小学校や保育園の役員がまわってくることもよくあり、身も心も疲れ果てていました。(学童では指導員の給与の計算や、就業規則のこと、労働保健のこと、保護者会の開催、行事の運営などあり

とあらゆる仕事がありました・・・)正直言って、学童保育も保育園のようにきちんと運営するところがあって、そこに子供を預けられるようにしてほしいと切実に思いました。(保育園は基本的には各保育園が市や県の補助金を受けて運営し、保護者は役員をしたり、色々な当番をしたりして常に協力していました)そういう意味では、今回のアンケートにあるように、もしも岡山大学が主体となって学童保育を運営し、子供を預かっていただけるのであれば、喜ばれる方も多いかもかもしれません。長くなって申し訳ありません。以上です。

- ・学童保育については、小学校にある場合はよいが、そうでない小学校に通われていると、大変だと思います。そのような方のためにはあればよいと思います。

○鹿田地区（保育園）

- ・鹿田キャンパスにも津島キャンパス同様の子育て支援のための環境を整うことを望みます。
- ・鹿田地区にも設置して欲しい。
- ・鹿田地区の検討もしてほしい。
- ・鹿田地区にも作って下さい…。願っている人は多いと思います。
- ・来年春からでも運用してもらえると助かります…。安心して働きたい。仕事続けていきたいのでどうぞよろしくお願いします。どれくらい話が進んでいるか、定期的に情報提供してほしい。
- ・津島だけでなく鹿田にも学童保育ができるように整えてほしいです。
- ・大学病院付近にあると使いやすいと思います。
- ・鹿田地区に学童保育を充実させてほしい。特に長期休暇中。お盆中など、病院はあまり関係ないため、預かってくれるととても助かります。
- ・鹿田地区にも作っていただければ安心して子供を預けられるのでぜひおねがいします。今の環境では、ずっと働き続ける事は困難です。
- ・この病院は給料も安い上に福利厚生も最低レベルなのでしっかりと職員の意見をくんでほしい。安くて安全で安心で、親の勤務時間にあった施設を希望します。
- ・保育園の方の充実をお願いしたい。病児保育などがあるとありがたいと思います。小学校にあがると、子供も成長し、おちつきましたが、小学校にあがるまでが、体制が整っていないためとても大変でした。ぜひ、保育園の方も検討して下さい!!
- ・津島に学童保育を設置し、岡山大学の元の位置付けにするならば、鹿田の保育所も病院の元での位置付けではなく、岡大として扱うべき。現在、鹿田職員のみという理由で岡大からの補助なし。鹿田の自助努力で…となっているが、津島の学童も津島職員のみ利用の可能性が高い。これでは不均等である。また、どちらも保育の質を問うべき。安かろう悪かろうではすまされない。早急に保育士の資格を認定し、給与体系を見直し、より質の高い子どもサポートができるよう望む。
- ・鹿田地区の学童保育や病児保育については改善予定はないのでしょうか。
- ・自分が働いている所が鹿田なので、鹿田に学童保育が出来れば解答は変わってくる

○勤務環境

- ・居住地域、子どもの学区が津島地区に近い場合は、利用しやすいと思われます。学童保育も、共働き家庭には大変重要ですが、学童保育に夜8時、9時まで預けるのはい

かなものかと思います。子どもは親の帰りを待っていますし、できるだけ早く帰宅できる職場環境にする方がより重要と思われま。それは子どもが小さい時期だけでなく、中学校、高校になれば受験準備、塾の送り迎え等子どもに関わることはずっと続きますし、働く主婦は家事も仕事が終わって、又は朝早く起きてやっています。親が早く帰宅するということは、子どもの成長にとっても、親自身の心身の健康にとってもとても重要なことだと思います。

- ”遅くまでみてもらえる学童保育があるのだから”という理由で、超過勤務を正当化されてしまうのではないかという危惧もあります。
- 学童保育についてはいいと思うが、子供がいてもそこに預けて何時まででも働くのが当然になるよりも、子供がいる人の働く時間への配慮の方が大切だと思います。
- 共働きが多いなか、少しでも働きやすい環境を作ってほしい。また、看護師は労働的にハードなので時間調整しやすい体制を作ってほしい。

『学童保育施設の設置』についてのアンケート

次世代育成対策支援検討委員会

(本アンケートは、小学生以下のお子様をお持ちの方を対象としておりますので、該当するお子様をお持ちの方のみ回答をお願い致します。)

岡山大学では、大学全体の取り組みとして、教職員の仕事と子育ての両立を推進するとともに、職場全体でより働きやすい環境を整えるべく6つの行動計画を策定しています。その中で、「津島地区の事業所内託児施設および学童保育施設の設置の必要性について検討する。」ということを行動計画として掲げていますが、この『学童保育施設の設置』について、当委員会で今後検討を進めていくうえで、小学生以下のお子様をお持ちの皆さまのご意見や希望をお伺いしたいと思います。つきましては、お手数ですが、以下のアンケートにご協力をお願い致します。

アンケートは、メールでの返信(アドレス:abe-t@adm.okayama-u.ac.jp)、印刷して学内便で送付等によって、平成19年11月14日(水)までに、総務・企画部人事課総務担当へご回答下さい。

なお、当委員会や6つの行動計画については、本学の学内限定ホームページにも情報を掲載しておりますので、ご参照下さい。(URL:<http://www.okayama-u.ac.jp/user/jinji/kosodate/kentouinkai.html>)

1. 回答いただくあなたについてご記入ください。

(ア) 年齢

- () 1. 20歳台 2. 30歳台 3. 40歳台 4. 50歳台
6. 60歳台

(イ) 性別

- () 1. 男性 2. 女性

(ウ) 職種

- () 1. 事務職員 2. 技術職員 3. 教育職員 4. 医療技術職員
5. 看護職員

(エ) 事業場

- () 1. 本部(津島キャンパス) 2. 教育学部附属東山学校園
3. 教育学部附属特別支援学校 4. 大学院医歯薬学総合研究科
5. 医学部・歯学部附属病院 6. 資源生物科学研究所
7. 地球物質科学研究センター
8. 医学部・歯学部附属病院三朝医療センター

2. 小学生以下のお子さまの人数をお答えください。

() 人

その内訳は、未就学児童() 人

- 1年生() 人 2年生() 人 3年生() 人
4年生() 人 5年生() 人 6年生() 人

3. 「2」で小学生のお子さまがいるとお答えの方、お子さまが通っている小学校名をご記入ください。

公立・私立 () 小学校
公立・私立 () 小学校
公立・私立 () 小学校

4. 「2」で小学生のお子さまがいるとお答えの方、そのお子さまは学童保育に行っていますか？

何年生のお子さまが行っていますか？

() 1. 行っている 2. 行っていない
その人数は、1年生 () 人 2年生 () 人 3年生 () 人
4年生 () 人 5年生 () 人 6年生 () 人

5. 「4」で学童保育に行っているお子さまは、夏・冬・春休みにも行っていますか。

() 1. 行っている 2. 行っていない

6. 津島地区に事業所内学童保育施設が設置された場合、その施設にお子さまを預けたいですか。また、その理由は。

(ア) 平日

() 1. 預けたい 2. 条件があれば預けたい 3. 預けない
(理由・条件) _____

(イ) 土日祝日及び長期休暇中

() 1. 預けたい 2. 条件があれば預けたい 3. 預けない
(理由・条件) _____

7. 何年生までの保育を希望しますか。

(ア) 平日

() 1. 小学3年生まで 2. 小学4年生まで
3. 小学5年生まで 4. 小学6年生まで

(イ) 土日祝日及び長期休暇中

() 1. 小学3年生まで 2. 小学4年生まで
3. 小学5年生まで 4. 小学6年生まで

8. 保育時間は何時から何時を希望しますか。

(ア) 平日

・開所時間

() 1. 小学校終了後～ 2. 各小学校区の学童保育終了後～
3. その他 () 時～

- ・閉所時間
() 1. ～18時まで 2. ～19時まで 3. ～20時まで
4. ～21時まで 5. その他()

(イ) 土日祝日及び長期休暇中

- ・開所時間
() 1. 8時～ 2. 8時半～ 3. 9時～
4. その他()時～

- ・閉所時間
() 1. ～17時まで 2. ～18時まで 3. ～19時まで
4. ～20時まで 5. ～21時まで 6. その他()

9. その他に学童保育に対する要望, 意見等があれば, 記入願います。

(保育方針・運営体制・施設など)

[]

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。